

## 日本赤十字臨床工学技士会設立準備会議事録

日 時：2008年10月9日（木）15:00～16:00

場 所：釧路市観光国際交流センター 2F テナントスペース（A5会場）

出席者：27名

司会進行：見田 登（旭川赤十字病院）

### 議 題：

1)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 発足の主旨説明（齋藤 郁郎：日赤医療センター）

2)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 発足の承認

3)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 組織運営の説明

①準備会運営スタッフの紹介及び承認

②日本赤十字臨床工学技士会の会則、規約等の作成

③会員名簿等の作成

④運営方針等の検討 等々

### 4)質疑応答

### 決定事項：

- ・日本赤十字臨床工学技士会設立準備会発足に関しては参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・設立準備会代表として齋藤郁郎氏（日赤医療センター）が推薦され、参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・設立準備会副代表として見田登氏（旭川赤十字病院）、西村和典氏（大津赤十字病院）、山田悌士氏（名古屋第二赤十字病院）が推薦され、参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・設立準備会事務局を皆川宗輝氏（横浜市立みなと赤十字病院）にお願いしたいと提案あり、参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・今後各ブロック代表が決まるまでの暫定的連絡先として、参加者の中から以下の7名に決定した。
  - 北海道ブロック・・・見田 登氏（旭川赤十字病院）
  - 東北ブロック・・・熊谷一治氏（石巻赤十字病院）
  - 東部ブロック・・・時岡伸行氏（武蔵野赤十字病院）
  - 中部ブロック・・・別當勝紀氏（山田赤十字病院）
  - 近畿ブロック・・・西村和典氏（大津赤十字病院）
  - 中国四国ブロック・・・白石裕二氏（松山赤十字病院）
  - 九州ブロック・・・伊藤正二氏（日本赤十字社長崎原爆病院）
- ・各ブロック代表は今後各ブロックにおいて選出していただく。

### 議事詳細：

1)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 発足の主旨説明（齋藤 郁郎：日赤医療センター）

- ・日本赤十字臨床工学技士会に関しては20年来話がされてきたが、なかなか実現されるまでには至らず、今回この釧路でのこの会を足掛かりとして実現していきたい。
- ・日本赤十字臨床工学技士会としては、各施設間での情報を共有することで全国赤十字病院の臨床工学技士の技術の向上を図るのみならず、病院や行政に積極的に働きかけ、地位や立場の向上を目指していくことが目的である。

## 2)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 発足の承認

- ・司会の見田登氏（旭川赤十字病院）より日本赤十字臨床工学技士会設立準備会を発足することに  
関して参加者の承認を求め、多数の拍手をもって承認された。

## 3)日本赤十字臨床工学技士会設立準備会 組織運営の説明

### ①準備会運営スタッフの紹介及び承認

- ・司会の見田登氏より設立準備会の代表として齋藤郁郎氏（日赤医療センター）の推薦があり、  
参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・設立準備会代表となった齋藤郁郎氏より設立準備会副代表として  
見田 登氏（旭川赤十字病院）  
西村和典氏（大津赤十字病院）  
山田悌士氏（名古屋第二赤十字病院）  
の3氏の推薦があり、参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・続けて齋藤代表より、事務局を皆川宗輝氏（横浜市立みなと赤十字病院）にお願いしたいと提案あり、  
参加者多数の拍手をもって承認された。
- ・また齋藤代表より全国を北海道、東北、東部、中部、近畿、中国四国、九州の7ブロックに分け、  
各ブロックよりブロック代表として1名選出してもらいたいと提案有り。

※意見①～ある程度の規模で人数もそれなりに揃っている施設でなければ、業務多忙のため  
委員会などに出席できない。また、出張にしてもらえないため出張費が出ないので  
こういう点についてどうするか？

齋藤代表の回答→

- ・あくまでも準備会ということで会則の整備などを行っていただけなので、どう  
しても必要な場合は集まるということも考えられるが、出来る限りメールで対  
応していきたい。
- ・出張費が出ない等の問題もあるが、そういうことも認めてもらえるような会を  
作っていくことが目的なのでご理解いただきたい。

※意見②～ブロック代表をやりたい人に立候補してもらっては？

齋藤代表の回答→

- ・齋藤代表より立候補したい人に挙手を求めるがなかなか出ず。
- ・その後別當氏（山田赤十字病院）より中部代表としてブロック代表になっても  
いいと立候補有り。

### ②日本赤十字臨床工学技士会の会則、規約等の作成

- ・見田副代表より今後の流れについて説明あり
- ・来年度4月より技士会発足とすると、それまでに会則、規約等を整備していかなくてはならない。
- ・会議の方法に関しても web カメラなどインターネットを利用した方法等を検討していく。
- ・放射線技師団体などの会則、規約を模範に作成予定（齋藤代表）。

### ③会員名簿等の作成

- ・名簿作成に関しては会員になる人のメーリングリスト作成、データベース作成等を準備会で行って  
いくことになるが、入会においては強制するようなものではない（見田副代表）。

#### ④運営方針等の検討

- ・日赤の薬剤師や放射線技師の団体では研究発表というスタイルをとっているが、準備会で今後、我々も同じようなスタイルで行っていくか、また会誌等を作成して施設紹介などを行っていくか、あるいはこのような会を設けていくかなどは検討していく予定（齋藤代表）。
- ・そもそもは全国赤十字の技士の立場がバラバラで統一されておらず、本社に掛け合ってもそれは一個人の意見ということで相手にしてもらえない。もっと連携を深めて、みんなの意見として本社へ掛け合えるような組織作りをしていきたい（見田副代表）。

#### 4)質疑応答

- ・意見①～今日決定したことを全国の赤十字病院の技士に伝えてもらえるか？

齋藤代表の回答→

- ・提出してもらった名簿にメールアドレスを記入していただいた施設には、今日の決定事項等、議事録はメールにて通知予定である。

- ・意見②～各ブロックの話し合いで代表を選出してもらおうといっても、他の施設のことはよくわからないがどうしたらいいか？情報の発信源としてならやってもいいが・・・。

齋藤代表の回答→

- ・とりあえず各ブロックから1名、各ブロックの暫定的連絡先ということで決めたい。
- ・各ブロックの暫定的連絡先として以下の7名に決定

北海道ブロック・・・好井透氏（北見赤十字病院）

東北ブロック・・・熊谷一治氏（石巻赤十字病院）

東部ブロック・・・鏑田晋治氏（さいたま赤十字病院）

中部ブロック・・・別當勝紀氏（山田赤十字病院）

近畿ブロック・・・朝日雄一郎氏（和歌山医療センター）

中国四国ブロック・・・白石裕二氏（松山赤十字病院）

九州ブロック・・・村上智章氏（熊本赤十字病院）

- ・意見③～会則、規約の整備に関して放射線技師の団体を模範にしようと言っていたが、看護師の団体など、もっと大きな団体のものを模範にしては？

齋藤代表の回答→

- ・そうですね。検討してみます。

- ・意見④～今回提出された名簿から人数はどのくらいになるか？

齋藤代表の回答→

- ・正確に計算したわけではないが、名簿が提出された施設は全国93病院中80施設くらいで、人数では200人近くと思われる。

- ・意見⑤～血液センターは参加できないのか？

齋藤代表の回答→

- ・今回は93病院を対象にただけなので血液センターには通知していない。
- ・もし血液センターにも技士がいるのであれば参加できるようにしていきたいが、現状では全国の血液センターには技士はいないと思われる。

- ・意見⑥～運営費についてどうするか？

齋藤代表の回答→

- ・準備会運営スタッフへの連絡方法としては極力郵便など使わずメールで対応予定。
- ・技士会発足と同時に決まった額の会費を徴収し運営にまわしたい。
- ・ちなみに薬剤師の団体では 5000 円/年、放射線技師の団体では 3000 円/年である。
- ・会費はできるだけ安くしたいし、強制ではないが職場の団体ということで出来るだけ全員に入会してもらいたい。

- ・意見⑦～今回のこの技士会発足を知らない人がいては大変では？

齋藤代表の回答→

- ・今回事前に送付した資料は血液センター以外の全施設に送っているので問題ないと思われるが、上の方で書類が止まったままで技士の方まで届いていないということも考えられる。

※ 西村和典副代表（大津赤十字病院）より最後に一言有り、今回のこの準備会の発足は大変嬉しいことであり、周囲への周知の意味も込めて、本社で発行している“もっとクロス”に掲載してもらえよう掛け合ってみますとのこと

調整の結果、以下のように各ブロックの代表者が決定しました。

北海道ブロック・・・好井透氏（北見赤十字病院）  
東北ブロック・・・熊谷一治氏（石巻赤十字病院）  
東部ブロック・・・鐘田晋治氏（さいたま赤十字病院）  
中部ブロック・・・別當勝紀氏（山田赤十字病院）  
近畿ブロック・・・前田充徳氏（和歌山医療センター）  
中国四国ブロック・・・白石裕二氏（松山赤十字病院）  
九州沖縄ブロック・・・村上智章氏（熊本赤十字病院）